国 (2011 No. 第60卷 第3号 平成23年9月30日発行

■トピックス

第28回「健康な町づくり」シンポジウム協働社会に欠かせない地域コミュニティ

そのコミュニティを支える鍵は!? 平成23年度全国市町村国保主管課長研究協議会

国保の広域化と社会保障・税一体改革を睨みながら



ふくしまの 国保 2011 No. 3

CONTENTS









第51回 伊達ももの里マラソン大会

8月28日、まだまだ残暑が厳 しい季節。そして、伊達市の名産 である桃がおいしくいただける この季節。ランナーズ誌の「全国 ランニング大会100撰」にも6 年連続で選ばれているこの大会 は、全国から4081人がエントリ 一し、震災の影響を吹き飛ばす ほど盛大に開かれました。

2024-523-2752

2024-523-2704

■発行所 福島県国民健康保険団体連合会

福島市庄野字柿場1-11

■印刷所 株式会社 阿部紙工

写真は80組を超える参加者 が集まった親子部門の様子で す。桃香る田園風景を楽しみな がら、子どもの手をひく親御さん の表情が印象に残ります。

■彩四季
鏡石町長 遠藤 栄作
■トピックス
第28回「健康な町づくり」シンポジウム 2
平成23年度全国市町村国保主管課長研究協議会 3
■保険者訪問
伊達市
■Dr.の健康メモ ····· 8
鈴木 弘行(福島県国保診療報酬審査委員会委員)
■My Essay ~ 国保の仲間たち ~
山内 美沙子 (会津美里町 健康ほけん課 保険年金係)
本田 充史 (田村市 市民課国保年金係)
■連合会からのお知らせ ······· 12
平成23年度通常総会
■ハイ、こちら保健師です!
近江 邦子 (福島市 国保年金課)
菅野 恭子 (福島市 国保年金課)
■DATA LAND 17
■連合会日誌
■連合会行事予定・求償Times・編集後記
福島の国保 検索
本会ホームページに「ふくしまの広報」を公開しています。 本誌バックナンバーの閲覧のほか、テレビCMや新聞広報 など、本会が実施している広報事業を紹介しています。 福島県国保連合会事業振興課企画係

E-Mail: iigvou@fukushima-kokuho.ip

福島県福島市中町3番7号 2024-523-2700代 20024-524-1041代

http://www.fukushima-kokuho.jp

SCURO SCURO SCURO



「自分の体の弱点を知って、 食事は最大の薬と心得」



遠藤 栄作 鏡石町長

痩せ細って産まれた私を見た祖父が「こ の子は持たないぞ」と言ったことを、子供 の頃よく両親から聞かされました。当時は 終戦後で食糧も満足に満たすことができな い時代であり、両親は地元の開拓農家とし て山林原野を毎日、鍬を使って掘り起し開 墾 (開畑) していたようです。こんな中で 貧弱に生まれてきた私ですが、生まれて60 年間、大きな病気やケガで入院することも ありませんでした。育ててくれた両親に感 謝をし、結婚後は家内にも感謝をしていま

子供の頃の私は、食べ過ぎか冷え過ぎだ ったのか分かりませんが、よくお腹を壊し たものでした。父親にお腹に手を当てても らい常備薬を飲んだり、時には近くの医院 に行くこともありました。父親には遠藤家 は胃腸が弱いからと言われていました。成 人してからは父親に言われていたとおり胃 腸が丈夫でないことを自覚し、食生活やお 腹を冷やさないことに気を付けて生活して きました。

年齢を重ねるごとに健康については関心 が深まるものです。毎年職場で受診する健 康診断の結果は大いに気になります。職場 内での職員同士の診断結果の話を聞くと一 部ではありますが若い男子職員に異常が多 いように感じられます。要因としては食生 活の乱れが影響しているように思います。

私の父親は息子の私に遠藤家の弱点と言 うべき胃腸が丈夫でないことは教えました が、残念ながら食事の大切さに関してはま ったく無関心でした。私は父親へ何度も食 の大切さを訴えましたが、聞き入れてはく れませんでした。その父は10年前、76歳で 他界しましたが、食事を大切にしていれば もっと長生きできたのではないかと思いま す。

83歳になる母親もまた父親と同じような 食生活をしてきて現在3つの病気を抱え、 通院と飲み薬が一番と考え生活していまし た。その母はここ1年以上になりますが、 家内が作った朝食と夕食を私と孫(ひ孫) が運び食事をしています。先日、通院先で 検査結果が良くなったと母親から聞きまし た。なぜ結果が良くなったのか母に尋ねる と「食事だ」と答えが返ってきました。や っと食事の大切さを分かって貰った、まさ に「最大の薬は食事である」ということが 証明できたような気がします。

ストレス解消と運動面では主として、40 年前から父親と二人三脚で始めた40aの畑 に、挿し木から育てたツツジ・サツキ・キ ャラ・ツゲ約1.200本の植木の手入れで す。手入れをしながら仕事のことをあれこ れ考え、また仕事を忘れて植木の手入れを し、汗をかく。作業を終えた後の樹木を見 て充実感に浸る。これも私の健康法です。

町長に就任してからは平日の手入れは一 切できませんが、土・日曜日に公務の合間 の時間を見つけては、こまめに手入れをし ています。

8月25日(木) 東京都千代田区一ツ橋 日本教育会館『一ツ橋ホール』

国保中央会が主催するシンポジウムには、都道府県や市町村、国保連合会で保健事業を担当する関係者が約500人集まり、地域における健康づくりやコミュニティを中心とした協働社会のあり方などを議論した。

地域力を引き出すために

「国保連合会のデータを有 効活用し、根拠に基づいた 医療・保健・介護の展開を 図りたい」として、市町村 の取り組みの参考となる事 例集を利活用しやすくる ために、着目すべき点を明 確にしていく考えを示した。





▲柴田理事長(上) と濵谷課長(下)

来賓には7月29日付の人事異動で、保険局国 民健康保険課長に就任した濵谷浩樹氏が出席。 座談会、シンポジウムでは、それぞれの地域性 が垣間見れる取り組みが発表され、近年薄まり つつある地域コミュニティが地域力の根源であ り、協働社会においては欠かせないものである ことを再認識した。

座談会で発言した熊本県和水町の前渕康彦氏が、地域の空気を会場に送り込むため、住民とともに推進している効果的な全身運動である「ひょっとこ踊り」(ページ上写真)を披露すると、会場は和やかな空気で包まれた。



TOPICS

平成23年度

全国市町村国保主管課長研究協議。

国保の広域化と社会保障・税一体改革を睨みながら

8月26日(金) 東京都千代田区一ツ橋 日本教育会館『一ツ橋ホール』

国保中央会が主催した協議会には、全国から市町村国保の課長を中心に約700人が参加。冒頭、来賓として出席した濵谷浩樹保険局国民健康保険課長は、市町村国保の広域化が進んでいる認識を示し、さらに基盤強化を図るため、一体改革の動向を睨みながら精力的に検討するとあいさつした。また、土田武史早大教授が「国民皆保険50年~今後の医療保険制度のゆくえ」、渡邊進一倉敷市保健医療センター理事長が「市民の理解が得られる、保険料(税)の徴収を」をテーマに講演。シンポジウムでは、5人の担当課長らが滞納対策や保健事業の取り組みを発表した。

患者同士の負担増はやるべきではない

講演に立った土田教授は、 社会保障・税一体改革成案 がまとめられたことに触れ、 「短時間労働者への被用者 保険の適用拡大は、最低限 実現していくべき課題である」と理解を示した。また、 高額療養費制度の見直しに



▲講演する土田教授

伴う定額負担制の導入には、「被保険者全体で 賄うか、税による負担が本来の筋であり、患者 同士の負担増である定額負担制は、やるべきで はない」と否定的な認識を述べた。

負担の公平性を充分に認識する

国保料(税)の収納率向 上のポイントについて、渡 邊理事長は、滞納整理の実 施にあることを強調。滞納 整理の意義は、負担の公平 性を図ることにあるとし、 「保険料を払える滞納者か ら、きちんと徴収すること

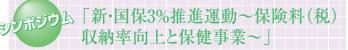


▲講演する渡邊理事長

で公平性が保たれる」と述べた。また、滞納により生じる延滞金の徴収が重要であるとし、 「保険税においては、地方税法上、徴収しないのは法に従っていないことになる。延滞金が払えない場合には、条例による減免規定を適用する手段がある」と認識を確認した。さらに、「徴収できない場合に不能欠損をせず、ただ債権を持っている状態は、本来の滞納整理業務に支障をきたす」と迅速な財産調査と不能欠損処理の対応を呼びかけた。



▲左から下記の発言者のとおり



- ・40~50代男性の健診・保健指導の受診率が低いことが共通課題。
- ・滞納処理に甘さがあっては公平性が保てない。
- ・非自発的な失業者の保険料(税)の適正 な減免が収納率にも反映する。

(司 会)					
大正大学人間学部教授	新	田	秀	樹	氏
(助言者)					
国民健康保険料(税)収納率向上アドバイザー					
財団法人倉敷市保健医療センター理事長	渡	邊	進	_	氏
厚生労働省保険局国民健康保険課					
国民健康保険指導調整官	渋	谷		亮	氏
厚生労働省保険局国民健康保険課					
保健事業推進専門官	光	行	栄	子	氏
(発言者)					
山形県庄内町税務町民課長	中	野		修	氏
静岡県藤枝市国保年金課長	種	石	弘	勝	氏
愛知県豊田市医療保険年金課長	杉	坂	盛	雄	氏
愛媛県西条市専門員兼納税第 1 係長	日	浅	義	勝	氏
鹿児島県徳之島町保健福祉課保健師	星	野	祐	子	氏
30		- 11	-		







▲左から新田氏、渋谷氏、光行氏

02 | ふくしまの国保



人 口 66,530 人

21,822 世帯 面 積 265.10 k㎡

今回取材する伊達市で国保を



伊達 織りなす未来 ひとつの心

Date City

福島県の北部、宮城県に接する伊達市。 その名を聞いて真っ先に思い出されるのは 奥州の龍こと「伊達政宗」です。市章にも 弦月がキラリと光ります。17代当主にあた る政宗を遡ると初代伊達朝宗が城舘を構 えたのが高子岡城(伊達市保原町)。伊達 氏発祥の地とされています。

また、伊達は半生のジューシーな食感が 特徴のあんぽ柿を生んだ土地としても知ら れています。自然な甘さの中にカリウムや ビタミンなどの豊富な栄養素を含むあんぽ

柿は、近年ではインタ ーネットでもお取り寄 せグルメとして人気が あります。





伊達の夏、桃の香りに誘われて

表紙の「ももの里マラソン大会」では、参加者に配るために用意 された桃が12740個。「今年もおいしい桃をいただきに来ました」 と話す参加者もいる程の評判です。生産者が、手間暇を惜しまず育 てたさまざまな品種の桃が特売場に並び、多くの人がその甘い香り に誘われます。そんな風景の一つ一つで「ふくしまは元気だ! | と いう気持ちになれるのです。











保険者訪問

Date City

伊達市の 国保の取り組み

医療データと保健事業の融合

伊達市は、本会が今年から実施している医療 費適正化のための「医療費分析モデル事業」に 参加しています。この経緯を伺うと、「22年度 は予想以上に医療費が伸びて、12月に増額補正 したのが始まりだった」と齋藤係長は振り返り ます。当時、課としてもなぜ伸びたのか、100 万円を超えるレセプトを抽出して病名を調べた りしたそうです。結果的には診療報酬のプラス 改定の影響が大きかったようでしたが、大橋課 長は、「医療データを持って数字を出しても、 私たちだけでは病気を予防することはできない し、対策の術がなかった」と付け加えます。つ まり、分析の方法や仕組みが確立されていない という現実に直面したのです。

これをきっかけに、健康推進課に、医療デー タを基にどうしたら予防や医療費適正化につな がるのかを相談し、ちょうどその頃、本会のモ デル事業の話があったというのです。齋藤係長 は、「保健師さんたちは、人工透析にならない ために何をすればいいのか、ノウハウを知って いる。私たち国保側はその分析、集計をするこ とになった。今ではモデル事業に一緒に参加す ることで連携する環境ができ、頻回・重複受診 者などを国保年金課で指定し、健康推進課が訪 問などの計画を立てられるようになった | と充 実感をにじませます。

表1 伊達市 国民健康保険の概要

1	1 17.7		大学	NAO IMS		
				20年度	21年度	22年度
玉	保世帯数		(世帯)	10,210	10,160	10,195
玉	保加入割合	%1	(%)	29.14	28.91	29.10
収	納率(現年度	[分)	(%)	90.84	90.06	90.24
被保	_	般	(人)	19,084	18,449	18,302
体険者数	退	職	(人)	831	1,116	1,196
数	合	計	(人)	19,915	19,565	19,498
고 살	_	般	(円)	277,285	282,825	300,313
一人当たり医療費	退	職	(円)	377,345	410,911	378,945
療費	合	計	(円)	283,239	289,294	305,140
調	剤報酬一人当 (一般・退職の		(円)	61,796	65,947	67,781
特	定健診受診	率※2	(%)	45.58	43.89	40.70

※1 被保険者数/人口×100 ※2 22年度は法定報告前の暫定値

特定健診・特定保健指導では、20年度に県内 の13市の中では、トップの成績(受診率・終了 率)でした。しかし、21年度には保健指導で数 字を下げてしまいます。翌22年度、退職してい る保健師さんを3人雇い、保健指導対象者の訪 間を展開しています。「今後の対応の見極めに していきたいしと大橋課長も力が入ります。

「ひとつの心」で公平性を守る

伊達市は、18年1月に旧5町が合併して新設さ れました。「ひとつの心」を前面に出し、国保 税においても当初から均一課税となりました。 また、22年度からは均衡性が保てない資産割を なくし、所得割で応能割をみていくべきとし、 県内4市町村目となる3方式を採用しました。市 の財政は比較的安定しているようで、法定外の 一般会計の繰り入れや基金の取り崩しは実施し ていません。大橋課長は、「この震災の影響と 来年度の診療報酬改定には注視していきたい と気を引き締めます。

収納率を見ていくと、22年度に数字が上がり ました。嘱託徴収員を2人雇い、現年度分で未 納になった人や口座振替不能になった人に対し て、電話や訪問で催促し、長期未納者にならな

表2 給付状況 (県平均との比較)

21年度	伊達市	県平均
受診率 (年間件数)/医・歯	961.01%	943.85%
一人当たり医療費/ 医・歯・調・訪・食・生	289,294円	278,361円
一人当たり調剤費	65,947円	52,113円
一件当たり医療費/医・歯	22,322円	23,162円
一件当たり日数/医入院	18.54日	17.48日
一件当たり日数/医入院外	1.56日	1.60日
一日当たり医療費/医・歯	10,598円	11,037円



▲大橋課長(前列右から2番目)、齋藤係長(前列右)と 国保年金課の皆さん



▲特定保健指導の様子

いよう対応しています。そのため、職員は滞納 処分を専門的に実施するようになりました。近 年、行政による差押えの強化などがメディアで 取り上げられますが、齋藤係長は、「市民の公 平性を守る上では必要な措置。ただ、本当に困 っている人かどうかの判断も必要になる」と冷 静な対応を口にします。

「健幸都市建設」の取り組み

仁志田昇司市長は、健幸都市 (Smart Wellness City*) をこれからのまちづくりの中核に捉 え、市民の誰もが健康かつ生きがいを持ち、安 心安全で豊かな生活を営めるまちづくりを目指 すと主張しています。というのも、22年9月現 在で市の年少人口率が12.8%、高齢化率が28.1 %となっており、この構想には、今後ますます 深刻化する少子高齢・人口減少という厳しい状 況を克服して、持続可能な地域をつくるという ことが期待されているのです。

その中で、やはり医療や福祉は、避けられな い分野となりますが、住民の健康に関する情報 を集約化して一元的に管理する自治体主導型健 康クラウド (HER) 構想が検討されていま す。これは、保険者間の垣根を取り払った住民 の健診データや医療費データの集約化、「健幸 バランスシート」の開発などを求めています。

※Smart=賢明、エコ、美しい、快適 Wellness=健幸、安心

生産者を支える力~広報の輪

現在、多くの県民と同様、伊達市でも放射性



▲だて市政だより「DATE | 2011.8月号より抜粋

物質という見えない物に不安を抱きながらの生 活を余儀なくされています。それでも、表紙の 「伊達ももの里マラソン大会」のように市民は 自分たちの力で笑顔を取り戻しています。

私たち福島県民は、常に良質でおいしい農産 物に囲まれていました。しかし、今や放射能問 題による風評被害など、非情な現実がありま す。それでも、その土地で家畜を育て、田畑を 耕し、果実を実らせてきた生産者たちが、全国 の消費者の「おいしい」を取り戻すため、苦悩 を乗り越え、生産の歩みを続けています。そし て、多くの人がそれを応援しています。

だて市政だより「DATE」(写真右上)で は、伊達市、桑折町、国見町、川俣町の合同企 画による特集『農業に投げかけられた波紋』が 掲載されています。再生の種は生産者だけでな く、それを取り巻く多くの人とともにあると感 じます。

◆ 取材後記 ◆

今回は表紙の写真の提供などでも大変お世 話になりました。忙しい中、取材に応じてく れた皆さん、広報担当の皆さん、ありがとう ございました。

伊達市 国保の窓口

国保年金課 TEL: 024-575-1198

伊達市ホームページ

http://www.citv.date.fukushima.ip/

鈴 木 弘で



求められる肺がん治療

2009年、肺がんによる死亡数は男女とも 一位の座を占めました。毎年約7万人ほど の患者さんが肺がんによって命を落として います。肺がんの治療成績の向上は現在の がん対策において非常に重要な問題です。

肺がんの治療法には手術、化学療法(抗 がん剤)、そして放射線療法の3つの柱が あります。実際には単独の治療で肺がんを 治癒させることは難しく、この3つの治療 法をうまく組み合わせて治療を行っていく というのが現在の主流となっていますが、 このなかで唯一肺がんを根治に導けるのが 手術療法であると考えられています。

さて、私の専門は外科。特に呼吸器外科 と呼ばれる領域です。呼吸器外科の主な仕 事のひとつがこの肺がんに対する外科治療 です。近年急速に発展を見せる肺がんに対 する外科治療ですが、決して一朝一夕に確 立されたものではないことは皆さんご存知 のとおりです。先人の苦労と多くの患者さ んの命によって現在の外科治療の発展があ ります。ニュートンは「私が遠くを眺める ことができたのも、私が巨人の肩に乗って いたからだしといって、先人の苦労を讃え ています。本稿では、先人たちに敬意を表 し、肺がん外科治療の変遷を辿ってみたい と思います。

九死に一生を賭けた奇跡

1933年、アメリカの外科医がこれまで誰 も成し得なかった肺がんに対する治癒切除 を成功させました。彼の名はDr. Graham。セントルイスのワシントン大学 Barns Hospitalでの出来事でした。手術を 受けたのも医師でした。患者さんはその後 30年生存しました。肺がんから解放された のです。この患者と医師の友情は生涯続い たそうです。しかし、運命のいたずらとで も言いましょうか。執刀医のGraham先生 自身が肺がんに冒され、結局は脳転移を併 発して亡くなりました。最後に死の床に見

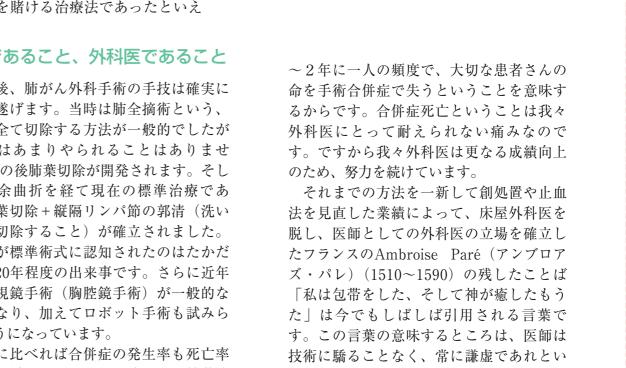
舞ったのは他ならぬ彼が執刀したその 患者さんであったと伝えられていま す。話が脱線しました。この初めての 成功例は驚くべきことにたったの1時 間45分の手術時間であったそうですが (現在でも約2~3時間程度が一般的 です)、患者さんは術後75日間入院を 余儀なくされています (現在では1週 間程度です)。Dr. Grahamはこのあと 生涯で70例の肺がん手術を手がけまし たが、初めての成功例のあと、続けて 行った19例の手術全例で術後合併症に て患者さんを失っています。現在では とても考えられませんが、当時肺がん 手術からの生還は難しく、まさに九死 に一生を賭ける治療法であったといえ ます。

その後、肺がん外科手術の手技は確実に 進歩を遂げます。当時は肺全摘術という、 片肺を全て切除する方法が一般的でしたが (現在はあまりやられることはありませ ん)、その後肺葉切除が開発されます。そし て、紆余曲折を経て現在の標準治療であ る、肺葉切除+縦隔リンパ節の郭清(洗い ざらい切除すること)が確立されました。 本術式が標準術式に認知されたのはたかだ かここ20年程度の出来事です。さらに近年 では内視鏡手術 (胸腔鏡手術) が一般的な 手技となり、加えてロボット手術も試みら れるようになっています。

従来に比べれば合併症の発生率も死亡率 も著しく低下しています。肺がんの外科治 療後に術後合併症にて亡くなる危険性は約 0.5%~0.9%程度であることが最新の全国調 査で明らかにされています。この数字をど う考えるかは人それぞれですが、少なくと も我々臨床医は100人~200人に一人亡くなる というこの数字は決して少ないとは考えて おりません。なぜなら、呼吸器外科医は年 間に100人程度の肺がんの手術に関わること は決して稀ではないため、この数字は1年

う戒めであります。私はあえて「外科医は 手術をした、そして神が病を癒したもう た」と言い換えたいと思っています。外科 治療の手法は常に発展途上にあります。常 に最善を尽くし、その結果うまく治癒でき たとしても、それは外科医ではなく患者さ んの生命力のお陰である、そういった姿勢 が大切と考えます。「常に謙虚にかつ静か な闘志を持って病に立ち向かうこと | が外 科医として最も大切な資質なのです。





08 ふくしまの国保



歌うように♪





沙士

■所属課·係 健康ほけん課 保険年金係 ■主な業務(担当年数)

国保給付(1年6カ月)

■趣味・特技

合唱、ドライブ、 最近はミュージカルのDVD鑑賞

なさん、初めましてこんにちは!会津 美里町の山内です。

去年4月から国保担当課に配属になり、お ろおろとしながらも優しい先輩方に恵まれ て、1年半がようやく過ぎたところです。

私の係は、穏やかな笑顔でするどいツッコ ミを担当する渡部係長をはじめとして、何度 態に出会っても釣りを愛してやまない先輩 や、「食は戦いだ!」と炭水化物を愛してや まない先輩(体をお大事に)、窓口に小さい 子が来ると顔がとろけてしまう先輩、笑いの 沸点がとても低い後輩…おもしろい人ばかり で、毎日わいわいと仕事をしています。もち ろん仕事熱心な皆さんです☆本当ですよ!

さて私はというと、趣味でずっと合唱を やっていて、人生の半分以上を歌ってすごし てきました。合唱というとなんだか地味~な イメージがある方もいるかと思いますが、意 外と体を使う活動です。バランスのいい筋肉 がないといい声は出ないので、練習では筋ト レや柔軟、ランニングなどもありますし、表 情筋のトレーニングなんかもやります。おか げで姿勢もきれいになりました。他にも演奏 会やコンクールなどに参加すると、プチ旅行 もできることが魅力のひとつです。

けど、仕事を始めてからは月に数回しか練 習をしないので、最近は体がなまってきてし まいました。が、ドライブ中に歌ったり、た んぼ道をぶらぶら散歩しながら歌ったりし て、これ以上体がなまらないように気をつけ ています。このあいだ仕事中に、封筒を 「に-し-ろ-くや-の、と♪」と数えてい たら、うるさいではなく楽しそうだねと言わ れたので、最近は調子に乗ってふんふん歌い ながら数えています。うるさかったら言って ください。その時は静かに数えようと思いま す。すみません。

このような感じで、笑いあり涙あり、時に は笑いすぎて涙ありの毎日を過ごしていま す。仕事ではまだまだ勉強不足でお世話にな ることも多々あるかと思いますが、どうぞよ ろしくお願いします。



▲保険年金係・・・10月からもっとメンバーが増えます

継続中です! 医療保険業務

△ 年の5月から国保業務を担当すること フ になりました。国保年金係は9人で国 保業務、後期高齢者医療業務、年金業務を 行っております。

私のことですが、3月まで後期高齢者医療 広域連合の給付係に派遣されていました。上 司から広域連合に行ってほしいと言われた時 は、国保の経験がない、一人暮らしをしたこ とがないということで、不安でいっぱいでし

派遣生活の初日はとても緊張しながら出勤 しましたが、当時の給付係長が、初日から係 で飲み会を開いてくれたので、新たに係に加 わった3人もうまく打ち解けていけたことを 思い出します。

私と同じ後期高齢者医療制度が施行された 平成20年に派遣された白河市のHさんをはじ め、皆さんと飲みに行くうちに、着任当時の 不安は消えていき、福島市も住みよいところ だと感じました。

また、広域連合の職員は週末実家に帰る方 が多く、帰るタイミングが一緒なのか、みん な同じFMラジオ番組を聴いていました。喜 多方市のHさんもその番組のファンであり、 金曜日の帰り道は楽しいものでした。

一人暮らしは食事に困りました。当初は自 炊を志しており、ものすごく高い包丁を買っ たわけでしたが、福島にはおいしい飲食店が 多く、外食ばかりの生活となってしまいまし た。おかげでメタボになり、現在ダイエット 中です。

派遣が終わってみると、福島での生活は あっという間に過ぎましたが、派遣元に戻っ た時は浦島太郎の状態で、3年間の変化は大 きいと感じました。派遣中に、たくさんの方 本 ほ村ん市 田だ

史

■所属課·係

市民課 国保年金係

■主な業務(担当年数)

国保給付(4カ月)

■趣味・特技 ゲーム (モンスターハンター) マッコリ (韓国の酒)

と出会え、知り合いになれたことが、私に とって大きなものとなりました。

最後に、各市町村、国保連合会の皆さまと これからも業務などで関わることがあると思 います。今後ともよろしくお願いします。



▲国保年金係の皆さんと

10 ふくしまの国保

連合会からのお知らせ



平成23年度通常総会

第2号のトピックス(2ページ)に掲載したとお り、23年度総会で承認された事項をお知らせ します。

《議案第1号 平成22年度事業報告》

第1 一般状況

1 会員等の状況

会員数61保険者(市13、町31、村15、国 保組合2)であった。

2 役員の状況

理事17人、監事6人であった。

3 事務局の状況

7課15係の事務局組織で、定数97人に対 1.92人(前年度比△1人)の現員であった。

4 機関会議等の開催

通常総会2回、理事会7回、監事会1回、 その他諮問会議(広報委員会、国保問題調 杳委員会)を実施した。

5 国民健康保険事業改善強化運動の推進

(1) 国民健康保険東北大会

東北地方6県と新潟県の各県保険者、 国保運営協議会、国保関係者などの参加 者で13項目を決議した。

(2) 国民健康保険東北大会の決議事項の陳情

東北大会の決議を実行あるものとする ため、本県選出の国会議員に対して陳情 実行運動を行った。

(3) 国保制度改善強化全国大会

全国の保険者、国保関係者などの参加 者で8項目を決議し、大会終了後国会で 国保制度を担当する各議員並びに各党幹 部に対して陳情実行運動を行った。

第2 事業実施状況

1 診療報酬審査支払の状況

診療報酬審査委員78人で、毎月4日間審 また、共同電算委託保険者分のレセプトに ついては、資格確認に伴う医療機関への照 会、返戻などの処理を行った。

2 柔道整復療養費の状況

柔道整復審查委員6人で、毎月1日間審 **査委員会を開き、レセプト審査を行った。**

3 指定公費、負担凍結分にかかる支払金

70~74歳の被保険者、被扶養者で、現役 並み所得者でない方が受けた療養の一部負 担金の一部について、国が負担する額の支 払を行った。

4 国保共同電算処理事業

保険者共通の事務を一元的に共同処理し、 保険者事務の効率化に寄与するとともに業 務を合理化し事業の充実を図った。

5 後期高齢者医療に係る委託業務

福島県後期高齢者医療広域連合(以下、 「広域連合」) の委託を受け、後期高齢者 医療制度関連の業務を行った。

6 保険者ネットワークの推進

県内保険者及び広域連合と本会との間で 接続した専用回線で、事務の効率化、情報 伝達の迅速化、電子情報によるペーパレス 化を図った。

7 レセプト電子請求の推進

23年度からの原則完全オンライン化に向 け、医療機関、審査支払機関及び保険者を

通じた一貫したシステムを構築し、業務処 理の効率化を図った。

8 画像レセプト管理システムの導入

レセプトを画像化して原本として管理で きる当該システムで、保険者は画像レセプ トを検索・閲覧でき、紙レセプトの管理が 不要となっている。過誤・再審査の申立も 保険者の端末から依頼が可能となっている。 23年4月現在で60保険者及び広域連合から 委託を受けている。

9 国保総合システム導入業務

23年度に現行の審査支払関連システムを 最適化した国保総合システムが全国で一斉 稼動する。本会では稼動に向けて最適化移 行チームを設置し、円滑な導入に努めた。

10 保険運営安定化対策事業

国保事業の目的達成のため、保険者との 連携を強化し、被保険者の国保に対する意 識向上のための効果的な広報活動や医療費 適正化に向けた取り組みを実施した。国保 事務担当者や保健師を対象とした各種会議、 研修事業の推進に努めた。

11 国保特別対策共同事業

国保財政の中長期的な安定を図ることを 目的に、在宅保健師等組織活動推進事業や 国保財政安定化研究事業を行った。

12 特定健診・特定保健指導における特定 健診等データ管理システムの処理状況

国保組合を含む59保険者から委託を受け 事業を行った。保険者は当該システムで受 診券の発行、請求支払、国に提出する実績 報告を行っている。

13 福島県保険者協議会事業

特定健診・特定保健指導の被用者保険の 集合契約について、被用者保険の被扶養者 が居住している地域で健診が受けられるよ う、福島県医師会等と集合契約締結に向け た取り組みを行った。また、特定健診受診 啓蒙とジェネリック医薬品使用促進のため の新聞広報や保健師の資質向上のための研 修会を実施した。

14 保険財政共同安定化事業・高額医療費 共同事業

国保法附則第26条の規定に基づき、国保財 政の安定化を図るため、当該事業を実施した。

15 福島県国保地域医療学会開催状況

国保診療施設関係者、市町村国保·保健 事業関係者が参集し、地域住民の保健・医 療・福祉の向上に寄与するものとして学会 を開いた。

16 介護保険事業の状況

県内全保険者から介護給付費審査支払業 務の委託を受け、審査委員6人(審査部会 3人、医療部会3人)で介護給付費明細書 の審査を行い、円滑かつ適正な運営に努め た。また、介護サービス苦情相談処理業務 では、22年度で70件(前年度比△20件)と なっている。

17 障害介護給付費等支払の状況

県内全市町村から委託を受けている障害 介護給付費等支払業務、及び県の委託を受 けている障害児施設給付費支払業務につい て、円滑かつ適正な業務に努めた。

18 保険料の年金からの特別徴収に係る情 報経由業務の状況

介護保険料、国保保険料(税)、後期高 齢者医療保険料の年金からの特別徴収に係 る市町村と年金保険者との情報経由業務に ついて、円滑かつ適正な業務に努めた。

19 診療報酬支払資金の融資

国保基金による診療報酬支払資金、国保 事業運営資金の融資を行い、保険者の財政 運営の円滑化に資した。東日本大震災で一 部保険者が診療報酬等の納入が困難となり、 本会が金融機関から借り入れを行い、立替 払いを行った。

20 その他

出産育児一時金等の直接支払と各市町村 の委託を受けた諸支払事業(社保乳幼児医 療費【47市町村】・重度心身障害者医療費 【5町村】·妊婦健康診査【59市町村】) を行った。

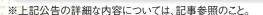
福国連公告第220号

福国:
平 おい
1 至
2 至
平成2 平成23年7月29日に開催した本会総会に おいて議決を得たので公告する。

- 1 平成22年度事業報告
- 2 平成22年度末財産目録

平成23年9月30日

福島県国民健康保険団体連合会 会長 鈴 木 義 孝





平成22年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

(単位:円)

				(
:	区 分	歳入合計額	歳出合計額	歳入歳出差引残額
-	一般会計	360,847,270	293,702,551	67,144,719
	診療報酬審査支払特別会計			
	(業務勘定)	1,375,415,462	1,173,740,618	201,674,844
	(国民健康保険診療報酬支払勘定)	137,123,789,795	135,860,152,681	1,263,637,114
	(老人保健診療報酬支払勘定)	567,276	▲6,774,613	7,341,889
-	(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)	5,157,420,801	5,139,831,949	17,588,852
-	(出産育児一時金等に関する支払勘定)	4,549,730,031	4,546,796,384	2,933,647
-	後期高齢者医療関係特別会計			
-	(業務勘定)	1,154,494,788	1,021,289,957	133,204,831
	(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)	207,256,981,837	207,253,250,449	3,731,388
	(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)	296,738,697	296,651,270	87,427
	国保基金特別会計	2,002,938,393	1,994,957,090	7,981,303
	共同電算処理事業特別会計	264,550,367	218,239,399	46,310,968
	保険財政共同安定化事業·高額医療費	24,203,863,799	24,200,338,634	3,525,165
	共同事業特別会計	24,203,003,799	24,200,330,034	3,323,103
	介護保険事業関係業務特別会計			
	(業務勘定)	2,717,467,436	2,672,716,007	44,751,429
•	(介護給付費支払勘定)	122,624,220,437	121,459,291,037	1,164,929,400
	(公費負担医療に関する報酬等支払勘定)	721,968,214	720,242,553	1,725,661
	障害者自立支援事業関係業務特別会計			
	(業務勘定)	33,667,178	24,745,607	8,921,571
:	(障害介護給付費等支払勘定)	18,490,813,683	18,445,425,759	45,387,924
•	国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計	8,078,248,293	8,039,485,575	38,762,718
:	特定健康診查·特定保健指導等事業特別会計			
	(業務勘定)	49,847,199	42,388,562	7,458,637
•	(特定健康診查·特定保健指導等費用支払勘定)	594,017,253	590,199,375	3,817,878
•	妊婦健康診査委託料支払特別会計	1,324,081,443	1,315,973,246	8,108,197
	職員退職金特別会計	242,697,649	242,697,649	0
-	計	538,624,367,301	535,545,341,739	3,079,025,562

福島県国民健康保険団体連合会会計		財	産	自 録 平成	23年3月31日	現在	(単位:円)
科 目	1	金 額		科目		金 額	Į.
I 資産の部 1.流動資産 現金預金				II 負債の部 1.流動負債 未払金(各システム運用経費、保守料等)	266,494,105		
現金 普通預金(合計) 東邦銀行本店	1,270 2,130,291,104 1,553,413,972			預り金 物資斡旋預り金(国民健康保険カード証用 所得税	抵代) 330,400 5,124,970		
みずほ銀行福島支店 未収金(国保診療報酬審査支払手数料等) 預託金(国保高齢者医療制度円滑導入基金を国保	576,877,132 119,310,513 3,513,419,249			住民税 共済組合掛金 健康保険料	5,809,400 359,264 225,382		
中央会へ預託) 立替金(国保診療報酬等) 貸付金(職員厚生資金貸付金)	1,595,576,500 11,445,144			厚生年金保険料 介護保険料 損害賠償金(31件)	47,370 31,707 18,791,120		
流動資産合計 2.固定資産 (1特定資産		7,370,043,780		診療報酬預り金 国民健康保険診療報酬預り金 (診療報酬支出金保留分他)	8,061,715		
退職給付引当資産(みずほ銀行福島支店) 国保基金積立資産(東邦銀行本店) 国保基金預託金(東邦銀行本店)	525,672,653 325,000,000 302,431,000			出産育児一時金等預り金(福島市他) 後期高齢者医療診療報酬預り金 (診療報酬支出金保留分他)	33,132,914 9,769,740		
業務運営資金積立資産(東邦銀行本店) 会館整備資金積立資産(東邦銀行本店) 介護業務運営資金積立資産(東邦銀行本店)	720,318,806 232,515,512 186,032,941			特定疾患預り金(後期高齢者)(全国決済相 保険財政共同安定化事業預り金(南相馬市 高額医療費共同事業預り金(南相馬市他)	他) 85,931,415 39,405,785		
国保介護従事者処遇改善円滑導入基金積立資産 (東邦銀行本店) 特定資産合計 (2)その他の固定資産	37,482,821 2,329,453,733			電子証明書発行手数料預り金 (障害者自立支援事業所 386件×2600円 国保高齢者医療制度円滑導入基金預り金 国保介護従事者処遇改善円滑導入基金預り。	3,510,185,128		
(27代) 把切回处員性 有形固定資產 建物(面積 2634.975㎡ 鉄筋5階建) 建物附属設備(機械設備、電気設備等)	524,142,531 229.319.886			国际/Jegiu等有处通以普门/// 原等人签金原切 短期借入金(東邦銀行、県) 流動負債合計 2.固定負債	2,800,000,000	6,822,192,986	
姓 切り 帰	17,051,767 7,077,135 302,177,384			2.回た見頃 リース債務(庁内サーバ) 国保基金預託金(福島市他) 固定負債合計	9,432,500 302,431,000		
減価償却累計額 土地(面積 1759.420㎡) 福島市中町11番3号 752.290㎡	▲ 573,039,092 112,400,000			負債合計 正味財産合計			7,134,056,486 3,274,010,097
国保会館用地(駐車場) 福島市中町3番7号 1007.130㎡ 国保会館敷地(所在地) 無形固定資産 ソフトウェア (国保総合ンステムミドルウェア等)	88,157,499			1. 各年度において、余剰金が多へ返還する。	ĪĒĪ		
電話加入権(17回線) 電話加入権(17回線) その他の固定資産合計 固定資産合計 資産合計	1,281,960 708,569,070	3,038,022,803	10,408,066,583	2. 積立金において、新システム の必要な経費を確保した上で 返還する。		Att 2 0 cl 0	

福島県国民健康保険団体連合会役員名簿

(平成23年7月1日現在)

自 平成23年4月1日 至 平成25年3月31日

숲 町 木 義 孝 俣 (会長代行) 町 古 Ш 郎 道 夫 鈴 河 市 伊 西会津町長 いわき市長 渡 辺 敬 夫 常務理事 吉 Ш 三枝子 瀬 島 市長 保 本 松 市 長 原 夫 石 町 遠 藤 栄 作 祭 町 古 張 允 祥 五十嵐 源 市 場 允 野 町 長 星 相馬市長 延 仁志田 市長 司 田 長 澤 明 加 藤 村 __ 也 山 П 多方市長 信 舘 村 長 菅 雄 野 典 公 認 会 計 士 高 橋 和

14 ふくしまの国保 ふくしまの国保 15

こちら保健師で





市に44人の保健師がいる中、国保年金課で活躍 するとても明るい雰囲気に包まれた二人の保健師 さん。今回は福島市を紹介します。

全ては市民のために

お二人は、特定健診・特定保健指導で主に企画 を担当しています。「国保の医療データが蓄積さ れている場で、市民にどう返していくか、悩みな がらも健康推進課と連携して進めている」と話す のは近江さん。国保年金課での使命は、医療費の 適正化と重症化予防で、国保年金課に配属された 当初は、二人とも戸惑いを感じたと言います。生 き生きと健康であることを目的に市民に接してき た視点とは異なり、国保では数字と実績が求めら れる、そういった違和感があったのかもしれませ ん。「広報や制度説明を経て、22年度は各団体 への呼びかけをするなど工夫したが、すぐに数字 はあがらない」と菅野さんは振り返ります。

石の上にも三年

逆境であっても、二人の表情は前向きです。制 度4年目となる今年は、変化がみられました。市 は、被保険者のためにと被保証を忘れた場合は、 その場で資格確認を実施していました。しかし、 今年は忘れることがほとんどなくなり、市民から 「当たり前だよ」という声が聞かれるほどになっ たのです。また、健診を委託している医療機関の 内、保健指導を実施できる機関に動機付け支援を 委託することにしました。市民は健診結果と同時 に保健指導の初回面接、あるいは予約が取れるよ うになりました。利用券発行まで時間がかかった



り、気持ちが冷めた りしないよう、利用 者の目線に立った改 善が見られます。

その他にも健診の 委託医療機関の協力

近江

を得て、健診翌月には保健指導の対象者を把握す ることができるようになりました。時間を空けず に"さよならメタボ教室"の案内ができるように なり、関係者の対応が市民を中心に連動して体制 が確立されていきます。仕組みが整えば「石の上 にも三年」。浸透していくのが楽しみです。

意識の底上げと医療費分析

次に二人が見据えているのは、市民の健康意識 の底上げと医療費分析です。保健指導を受けた人 の生活習慣は、約6割が改善に向かっていますが、 接触できない人が心配です。「健診や保健指導に 来れない人をどうするかが課題です。すべての市 民が健康でいてほしい」と近江さんが言うと、菅 野さんが「そのためにも、レセプトを見る力と医 療費分析が必要。国保にいる保健師だからできる ことだよね」とお互いの目を合わせます。「二人 でよかったね」と大変さを忘れさせるような息の 合ったお二人の明るい雰囲気。感情豊かに話す姿 がとても印象に残りました。



市の観光キャラクター "ももりん"も脱メタボ!?

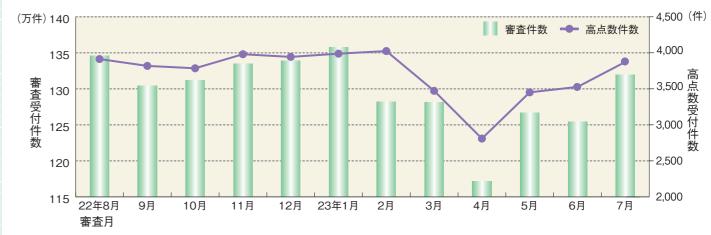
"ハイ、こちら



目で見る医療費の動き

国保・後期高齢者分レセプト審査状況

7月審査分で6カ月ぶりに審査受付件数が130万件を突破



審査月	22年8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
審査受付件数	1,345,868	1,303,936	1,311,776	1,334,792	1,339,165	1,357,681	1,282,107	1,281,306	1,171,391	1,266,466	1,254,488	1,319,184
高点数件数	3,913	3,818	3,785	3,980	3,943	3,988	4,024	3,472	2,809	3,451	3,526	3,873
特別審査分件数	14	19	18	18	28	26	18	22	20	11	14	18

- *1 審査受付件数は、国保・退職・後期分の医科・歯科・調剤レセプトを対象。
- *2 特別審査分: 40万点以上のレセプト(歯科分のレセプトは20万点以上)。
- *3 高点数:8万点以上40万点未満のレセプト。
- *4 *2~3共に返戻分・調剤分のレセプトを除く。

最高点数レセプト 国保は109万点、後期高齢者医療は79万点が最高

平成23年6月審査分(5月診療分)

(1) 国 保			請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
	医	科	994,373	入	12	男	70代	急性下壁心筋梗塞
	歯	科	112,650	入	31	男	60代	口底癌、頚部リンパ節転移、糖尿病
(2) 後期高齢者医療			請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
	医	科	723,699	入	16	女	70代	僧帽弁閉鎖不全症
	歯	科	124,103	入	31	女	70代	右口腔底癌(下顎骨浸潤)

平成23年7月審查分(6月診療分)

(1) 国 保			請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
	医	科	1,093,832	入	30	男	60代	僧帽弁閉鎖不全症
	歯	科	110,371	入	30	男	60代	口底癌
(2)後期高齢者医療			請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
	医	科	797,537	入	28	女	70代	急性心筋梗塞後心室中隔穿孔

16 ふくしまの国保 ふくしまの国保 17

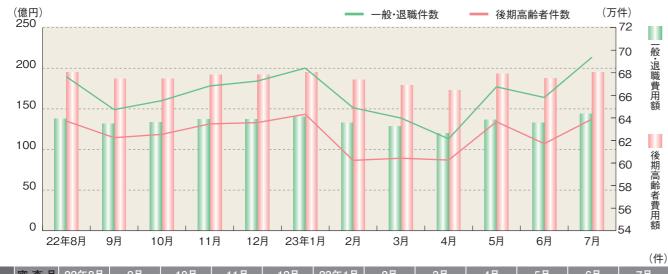


国保・退職・後期高齢者医療の動き

7月審査分で338億円

過去12カ月で最高額

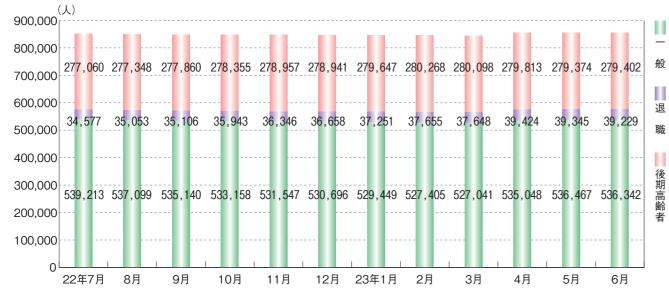
◆ 件数・費用額の動き(医科、歯科、食事・生活療養、調剤、訪看を対象。国保は県内 61 保険者の計。)



													(117
	審査月	22年8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
/aL	一般退職	676,547	647,340	655,336	668,304	672,646	684,121	649,013	639,889	621,430	667,528	658,090	693,808
14	13X X2 19W									20,810	8,820	7,222	2,597
Ne F	後期	637,224	622,467	625,433	634,663	635,830	643,257	602,370	604,263	602,645	636,613	617,169	638,989
数	後期									21,453	9,868	7,541	2,906
	±L	1,313,771	1,269,807	1,280,769	1,302,967	1,308,476	1,327,378	1,251,383	1,244,152	1,224,075	1,304,141	1,275,259	1,332,797
	計									42,263	18,688	14,763	5,503

													(千円)
	審査月	22年8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
-##	一般退職	13,796,241	13,182,312	13,344,782	13,705,535	13,710,840	14,059,226	13,315,396	12,859,508			-,,	14,370,224
費	川文 丛兰 相联									454,060	147,536	136,051	35,069
實 用 額	後期	19,480,470	18,728,905	18,721,844	19,183,731	19,172,221	19,532,118	18,599,564	17,907,944	17,279,801	19,324,713	18,798,104	19,480,558
覩	反 70									849,567	292,039	202,728	53,584
	≡L	33,276,710	31,911,217	32,066,626	32,889,266	32,883,060	33,591,344	31,914,961	30,767,452	29,289,525	32,971,964	32,099,755	33,850,782
	計									1,303,626	439,575	338,779	88,653

*本会の審査支払確定値より算出。



*23年2月以降、4市町村国保が被災の影響のため、1月末時点の被保数を使用している。 6月には、更に11市町村国保が5月末時点の被保数を使用している。



地域別の医療費の動き

相双地区が対前年同月比で大幅増

いわき地区は同水準

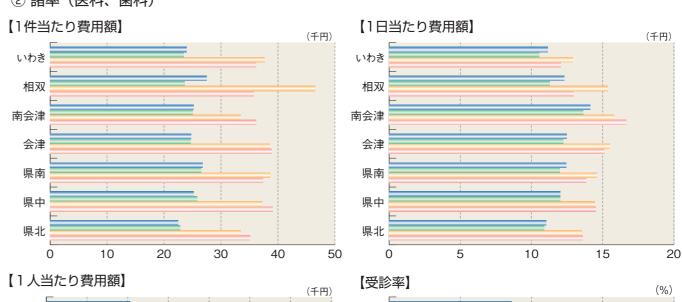
平成23年 7月審查分

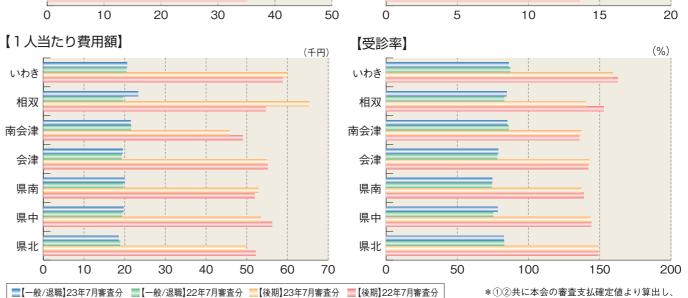
ここでは、59市町村を県北、県中、県南、会津、南会津、相双いわきの7地区に分けて医療の動向をお知らせします。

① 件数·費用額(医科、歯科、食事·生活療養、調剤、訪看)

										(11/1 1/
			_	般	/ 退	職	後	期高	高 齢	者
			件数	対前年比	費用額	対前年比	件数	対前年比	費用額	対 前 年 比
県		北	167,338	100.69%	3,207,191,454	99.06%	164,566	102.76%	4,525,516,482	99.34%
県		中	168,224	100.23%	3,613,192,846	98.41%	143,116	101.86%	4,407,778,998	98.29%
県		南	42,323	99.66%	1,003,230,346	100.50%	38,501	100.43%	1,299,968,510	103.21%
슾		津	91,060	99.96%	1,876,524,424	100.37%	98,548	101.72%	3,075,963,006	101.03%
南	슾	津	11,275	94.47%	249,586,898	95.62%	13,688	101.69%	393,289,530	96.65%
相		双	78,418	114.60%	1,794,765,330	126.83%	60,467	93.33%	2,231,945,678	114.18%
(1	わ	き	129,962	100.49%	2,540,879,238	102.73%	120,103	99.13%	3,546,095,816	103.04%

②諸率(医科、歯科)





歳]23年/月番宣分 【一般/返収]22年/月番宣分 【後期]23年/月番宣分 【後期]22年/月番宣分 東日本大震災による概算請求分等は含まない。

18 | ふくしまの国保 ふくしまの国保 19

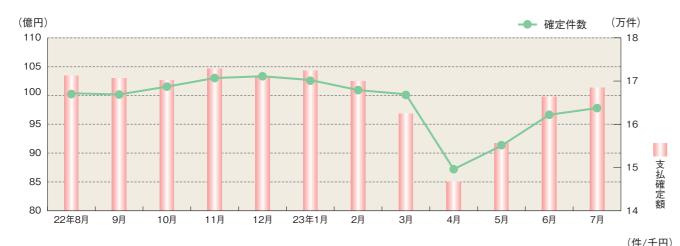


き

震災による事業の混乱から

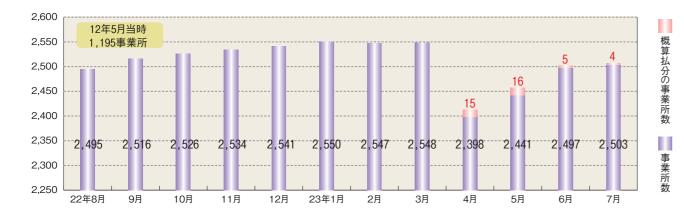
前年同月の規模まで事業が回復

① 介護給付費支払状況

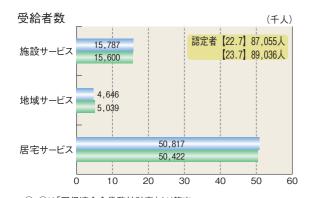


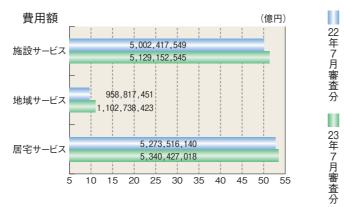
													(117 1137
審査月	12年5月	22年8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
受付件数	63,219	170,011	170,522	172,110	174,912	174,550	172,972	171,275	170,107	154,861	161,671	168,632	171,029
確定件数	60,069	167,184	166,894	168,718	170,709	171,111	170,242	167,916	166,957	149,612 1,274	155,056 1,175	162,205 1,044	163,752 460
支払確定額	3,837,411	10,345,014	10,296,970	10,265,607	10,465,907	10,319,612	10,432,884	10,248,575	9,687,556	8,505,857 113,940	9,168,433 77,567	9,979,032 38,231	10,135,814 30,660

② 事業所数



③ サービス別 受給者数・費用額 (23年7月審查分 対前年同月比)





- * ①、②は「国保連合会業務統計表」より算出。
- * ①表内の朱書きの数値は東日本大震災による概算払分及び請求額払分を示す。別掲であり、グラフには含んでいない。
- * ③は「保険者別 国保連合会業務統計表(確定給付統計)」より算出し、東日本大震災による概算払分等は含まない。



介護 ~ 一人当たり費用額

浜通り地方の保険者がそろって高い水準

平成23年 7月審査分 (円)

		4 1 4- 4-11	4 1 4 6 1 1		· 「月番直刀 (円
	保険者名	1人あたり 平均費用額	1人あたり 居宅サービス費用額	1人あたり 地域サービス費用額	1人あたり 施設サービス費用額
+	柳 津 町	144,674	87,519	251,100	294,359
	檜 枝 岐 村	146,726	128,181	0	276,540
	会津若松市	147,756	99,202	169,225	319,550
	福島市	148,761	104,889	206,848	308,265
	<u>小</u> 野町	149,055	96,294	199,066	327,955
	南会津町	151,207	90,779	149,185	309,489
	磐梯 町	154,720	95,250	224,562	319,939
	玉川村	154,765	93,962	161,453	324,261
	北 塩 原 村	155,322	88,212	226,493	326,827
	化 塩 凉 11 伊 達 市	155,424	106,388	168,151	
	 				324,006
	郡山市	155,809	88,104	238,562	322,133
		156,076	103,819	233,742	324,988
		156,603	106,734	222,912	323,812
		156,795	106,072	193,677	315,424
	棚 倉 町	157,388	97,276	174,087	306,690
	塙 町	158,045	96,078	171,282	307,723
	湯川村	158,168	94,028	254,540	314,150
	矢 吹 町	161,234	112,664	262,530	291,840
	白 河 市	161,625	103,977	226,164	314,848
	喜多方市	163,492	92,820	218,983	320,088
	西 郷 村	164,337	111,903	131,794	305,995
	金 山 町	164,512	114,883	258,750	304,011
3 -	下 郷 町	164,524	104,535	239,088	310,684
	浅川町	164,565	105,171	281,779	322,528
	国 見 町	164,724	124,967	134,854	353,860
6 [西 会 津 町	164,821	98,408	260,450	299,538
7 - 3	三 春 町	165,327	113,587	267,300	327,253
	中島村	165,402	93,270	368,450	311,035
	 	165,419	96,798	220,527	306,064
0 =	会津坂下町	167,825	108,408	237,291	316,377
	田村市	168,326	108,673	269,789	332,027
	二 本 松 市	168,991	101,464	196,035	321,688
		170,594	118,517	279,900	300,893
4 = 3	灰 祭 町	170,854	95,221	361,535	300,030
5 1	八 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	172,330	112,463	186,247	316,820
6 1	[i] 	172,789	104,857	302,709	317,842
	新地町	173,056	103,253	277,600	332,102
	会津美里町	173,030	114,034	331,060	315,815
9	天 栄 村				
	<u>大 木 竹</u> 古 殿 町	174,776	112,000	0	316,665
	<u>白 </u> 本 宮 市	175,467	97,266	375,150	341,266
		176,754	104,425	204,898	308,715
	平 田 村 ―	177,905	114,976	262,079	323,539
	桑折町	178,693	131,510	290,945	309,050
	川 俣 町	179,933	115,827	178,121	367,468
	鮫 川 村	182,578	107,361	319,589	316,391
	石 川 町	183,038	118,437	271,582	342,338
7	昭 和 村	187,486	113,567	0	351,305
	三 島 町	194,752	109,044	0	313,111
	大 玉 村	195,240	119,086	272,750	311,974
	広 野 町	197,417	122,404	210,945	323,330
	南相馬市	227,006	118,854	311,570	441,312
	川 内 村	227,100	156,983	254,948	337,531
	飯舘村	231,428	79,907	0	356,117
	然 	250,448	99,383	267,900	443,428
	大 熊 町	261,241	125,066	323,291	422,278
	双葉町	293,346	152,104	199,177	461,807
	及 	301,682	149,307	444,868	494,267
	<u>版 </u>	301,082	162,599		494,267
	<u>留 </u>			699,130	
	<u>画 问 </u>	308,321	203,704	266,245	415,476
		162,850	105,915 東日本大震災による概算払分等に	218,841	328,792

- *「保険者別 国保連合会業務統計表(確定給付統計)」より算出し、東日本大震災による概算払分等は含まない。
- *一人当たり平均費用額の低い順に掲載。
- * サービス受給者一人当たりで算出。

20 ふくしまの国保 ふくしまの国保 21

ı 23 年

August

●医療費分析モデル事業(第2回目):本会役員室

長野県を中心に保健師等の会事務局代表などで活動している水上きみ子さんを講 師に招き、医療費適正化のための医療費分析モデル事業の学習会が開かれました。 2回目となる今回は、『標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)』や市町村の 全体像の把握方法、高額医療費の分析方法、市町村が抱える課題を整理する手法な どを学びました。

●障害者自立支援担当職員研修会:福島市 杉妻会館

8 ∃ 障害者自立支援担当職員を対象に、本会が市町村から委託を受けている支払や台 帳管理、市町村事務共同処理などの業務全般を説明しました。

●保険者協議会 医療費調査部会・保健事業部会合同会議:福島市 こむこむ

合同会議は、5月31日の総会で決定した事項などが事務局から報告されました。 9日また、本会の丹野由美子保健事業部会員から21年度の国保の特定健診、特定保健指 導の実施状況が説明され、協会けんぽの高橋裕一医療費調査部会員から「協会けん ぽ福島支部と福島県国保との医療費比較について」というテーマで分析結果が発表 されました。この後、各部会に別れて23年度の事業運営を協議しました。

●在宅保健師の会「絆」県中・県南地区会:郡山市 労働福祉会館 23年度県中・県南地区の今後の活動を協議しました。

●国保県北地区部会総会:福島市

8市町村2国保組合から構成される県北地区部会総会が開かれ、22年度の事業報 告と23年度の事業計画などを審議した結果、全件承認されました。また、議長を務 18日 めた福島市の髙村一彦市民部長から、県全体として来年度以降の税収は厳しいと想 定されるため、国保としても主管する課長が協力して国などへの働きかけをお願い したいと提案があり、本会の吉川三枝子常務理事も連携して取り組むことを約束し

●第3回国保総合システム保険者説明会:郡山市労働福祉会館

10月に稼動を控えた国保総合システムの保険者説明会が、100人の国保担当者が 出席する中、開かれました。説明会では、システムの導入状況から各種共同処理業 務、各種事業関係業務、レセプト管理システムの導入、過誤・再審査の取扱い、療 養費の取扱い、翌週からはじまる操作研修、リハーサルについて、各担当者が説明 しました。

●審査委員会:本会大会議室(~22日)

●歯科部会:本会役員室

23日 ●国保総合システム随時異動更新処理操作研修会:本会国保総合システム研修室

●介護給付費審査委員会(医療部会) : 本会小会議室

24日 ●国保総合システム異動更新処理保険者リハーサル (~8/26)

●健康な町づくりシンポジウム:東京都

国保中央会が主催する当シンポジウムでは、都道府県や市町村、国保連合会で保 25日 健事業を担当する関係者が約500人集まり、地域における健康づくりのあり方を議論 しました。本誌「トピックス」(2ページ)をご覧ください。

●再審査部会:本会大会議室

●平成23年度全国市町村国保主管課長研究協議会 : 東京都

全国から市町村国保の課長を中心とした国保関係者約700人が参加しました。土田 26日 武史・早大教授が「国民皆保険50年~今後の医療保険制度のゆくえ」、渡邊進一・倉 敷市保健医療センター理事長が「市民の理解が得られる、保険料(税)の徴収を」 をテーマに講演しました。本誌「トピックス」(3ページ)をご覧ください。

●国保総合システム操作研修会:本会国保総合システム研修室(~9/16)

●市町村介護保険担当者会議:青少年会館

市町村の介護保険担当者が70人出席し、本会が委託を受ける業務の全般について、 震災の対応を含めて説明しました。また、介護サービス苦情処理業務についても本 年度から対応している宗像調査員から挨拶と業務説明がありました。

●全国国民健康保険診療報酬審査委員会会長連絡協議会 : 東京都

全国の国保診療報酬審査委員会の会長が参集し、連絡協議会が開かれました。来 賓挨拶に立った厚労省保険局国民健康保険課の濵谷浩樹課長は「国民健康保険制度 30日 の現状と課題」をテーマに講演し、今般の大震災で甚大な被害にあった本県の水野 章会長は「震災・原発災害時の審査等の状況について」をテーマに講演しました。

●特定健診等データ管理システムの個別支援:棚倉町

個別支援を希望された保険者に伺い、当該システムの操作説明を実施しました。

31日 ●全国国保連合会審査担当課(部)長会議:東京都















September

2 日 ●P (プライバシー) マーク監査

●介護サービス苦情処理委員会: 本会役員室

介護保険法に基づき、介護保険制度の専門的な苦情処理機関として位置づけられ ている本会において、苦情処理業務を円滑かつ公正に行うため、設置されている委 員会が開かれました。

協議事項や本会に寄せられた相談内容について、調査員が報告し、昨年度の苦

6 日 情・相談の統計などを事務局が説明しました。 ●画像レセプト再審査申立凍結(~11/9)

●画面システム操作研修:東京都

国保連合会の審査業務担当職員が集まり、国保総合システム稼動に伴う、画面シ ステムによる一次審査の縦覧・横覧・突合、そして再審査や追加された機能などの 操作方法について、実機を用いた研修会が国保中央会主催で開かれました。

異診療施設協議会支部長会議及び連絡会議:福島ビューホテル 東北地方の全国国保診療施設協議会(以下、「国診協」)支部の代表者と国保連合

会の担当者が集まり、平成24年度の役員選出などを協議しました。パネルディスカ ッションでは、「東日本大震災の対応と今後の課題」をテーマに東北6県に新潟県を 加えた7人の発表者が、それぞれの施設での震災に係る対応を発表。国診協の常任顧 ♀ □ 問である山口昇氏は、広島県の公立みつぎ病院が福島県へ人材派遣した記録を特別 発言し、避難所などでの地域包括ケアの必要性を求めました。最後に演題に立った、 同じく国診協の常任顧問である冨永芳徳氏は、国保直診の成果を強調し、総合医の 育成・認定のシステムやプライマリ・ケアの意義などを説明。イギリスやドイツの 医療情況を紹介し、総合医がプライマリ・ケアに大きな役割を果たしていくと呼び

●第三者行為求償事務研修会: 杉妻会館

市町村及び後期高齢者医療広域連合で求償事務を担当している44人が出席しまし た。講師には福島自賠責損害調査事務所長の松本俊一氏を招き、「自賠責保険(共 済)損害調査のしくみ」をテーマに講演しました。また、本会の松下繁弘調査員か 16日 ら『「第三者行為」事案の求償要領と留意事項』、同じく本田新吉調査員から「第三 者行為損害賠償求償事務共同処理業務規則の一部改正等について」を説明しました。

●審査委員会:本会大会議室(~19日)

●歯科部会:本会役員室

かけました。

20日 ●新規採用職員(前期)研修:福島県自治研修センター(~22日)

21日 ●国保総合システムリハーサル (第1回) (~10/7)

●再審査部会:本会大会議室

●介護給付費審査委員会(審査部会・医療部会):本会小会議室

26日 ●新規採用職員(前期)研修:福島県自治研修センター(~28日)

国保総合システム稼動による業務委託契約を中心に審議され、原案のとおり全て 可決、承認されました。また、当該システムの導入・運用委託業務状況や後期高齢 者医療をめぐる最近の動向について、事務局から説明しました。

報告第1号 規約の一部改正の専決処分について

報告第2号 規則の廃止日の延長の専決処分について

議案第1号 規約の一部改正について

議案第2号 国保総合システム安定稼動までのSE等追加支援業務委託契約について 議案第3号 平成23年度国保総合システムコールセンター業務委託契約について

東北地方国保協議会及び山形県国保連合会が主催した本研修会には、東北・北海 道の国保連合会の審査業務担当職員が参加しました。審査担当職員として必要な点 数表の解釈や二画面審査などによる審査支払の知識やスキルの習得を図り、各県の 強調と連携を深めました。

●平成23年度国保連合会介護保険業務連絡協議会:新潟県

東北・北海道の国保連合会介護保険、障害者自立支援業務担当者が参集し、国保 連合会が取り扱う関係業務の諸問題について、各道県からの提出協議事項を分科会 ごとに協議しました。















22 ふくしまの国保

連合会行事予定

10月1日~11月30日

10月 October

4日	国保問題調査委員会	国保会館
18日	健康づくりふれあいセミナー	ハイテク プ ラ ザ
26日	第58回国保東北大会	福島グリー ン パ レ ス

11月 November

2日	国保税収納率向上対策研修会	杉妻会館
14日	市町村保健師等専門研修会	福 島 市 こむこむ
24日	福島県国保運営協議会連絡会	福島市大島
29日	国保主管課長部会	杉妻会館
30日	「第58回国保東北大会」決議事項の陳情運動	東京都



求償Times

被保険者等(被害者)が、第三者行為によって保険で治療を受けたときは、すみやか に国保・後期高齢者医療・介護保険の窓口へ関係書類を届出ましょう。

被保険者等(被害者)の方が届出に必要な書類及び各市町村で求償事務に必要な関係 書類(国保用/介護用)をホームページからダウンロードできるようになりました。

本会ホームページの

トップページ >保険者専用 >各種様式について

をご参照ください。

■国保用

- ・委任状 (様式第2号)
- ・第三者行為による傷病届(参考文案)
- ・念書 (参考文案)
- ・誓約書 (参考文案)
- ・事故発生状況報告書
- ・国民健康保険給付内訳書
- ・保険給付明細書
- · 人身事故証明書入手不能理由書
- · 第三者行為求償事務相談業務依頼書

■介護用

- ・委任状(様式第2号)
- ・第三者行為による傷病届(参考文案)
- ・念書 (参考文案)
- 誓約書 (参考文案)
- 事故発生状況報告書
- ·介護保険給付費内訳書
- ・介護保険給付明細書
- · 人身事故証明書入手不能理由書
- ·第三者行為求償事務相談業務依頼書

第三者行為に関してのご質問・ご相談等は、電話または

メールで、お気軽にお問い合わせください。

福島県国民健康保険団体連合会 事業振興課求償係

TEL: 024-523-2743 E-mail: jigyou@fukushima-kokuho.jp



●ハイキングなど行楽やスポーツの秋。身体を動かして芋煮鍋などで食欲が満たされる と大満足です。先日は久しぶりに本宮市民野球大会に参加。現役高校生の投げるボール

にはとても燃えましたよ。写真は昭和55年5月 27日と記録された本会の先輩方の「晴れやかな 瞬間 | です。私はといえば、この頃は世に生ま れて3年。たぶん転がったりしておりました。

●外で安心して遊べない子ども達がたくさんいます。福島の空の 下、みんなが夢中になって遊んだり、「晴れやかな瞬間」を味わっ たりする。そんな当たり前のことを取り戻したいのです。 (陽)



貸し出し機材のご案内

■NEO活齢

機能のご紹介

●暦の年齢ではなく、活力年齢(=身体の年齢) を算出し、からだの健康度を測定することが できます。

その他にカロリーチェック、体脂肪チェックが 行えます。

● タッチパネル&音声ガイド付きなので操作が 簡単です。また内臓プリンターで測定結果も 印刷できます。

活力年齢で健康チェック!!



■健口くん

□腔機能を簡単測定!



測定内容

①オーラルディアドコキネシス 口唇・舌・軟口蓋の動きを評価し、口腔機能 をチェックします。

測定方法は、「パ」「タ」「カ」をそれぞれ5秒 間または、10秒間発音し、評価します。

② 反復唾液嚥下テスト(RSST) 30秒間に3回以上唾液が飲み込めることを 正常範囲とし、飲み込む機能を測定します。

お知らせ

本会ホームページにて、主な貸し出し機材を画像で紹介して おります。また、機能の説明も掲載しておりますので、ご予約の 際の参考としてご利用ください。

TOP>保険者専用>教育広報用機材の貸し出し



お申し込み お問い合わせ まずは、お電話で予約状況を確認していただき、本会ホームページの保険者専用ページ内、 "教育広報用機材の貸し出し"より「予約申込書」をダウンロードし、FAXにてお申し込み下さい。 また、FAX送信後は確認のお電話をお願いいたします。

事業振興課 保健事業係 ☎024(523)2754/FAX024(523)2704 ホームページ http://www.fukushima-kokuho.jp/









Syoku no Chikara vol.09

究極の健康食

自然界にはたくさんのカビや細菌、酵母などの微生物が生きています。 古くから日本人は、これらの微生物と温暖多湿



な気候を活かして発酵食品を作り、美味しく健康に食べてきました。カビや細菌というとイメージが悪いのですが、これらが出す酵素は、食品を美味しく消化しやすくし、栄養価や保存性を高めてくれます。昔は各家庭で、味噌、醤油、納豆、漬物などを手づくりしたものです。実家の味噌蔵にも、祖母が仕込んだ樽が沢山並んでいました。カビが生えた樽、湿った空気は決して気持ちが良いものではありませんでしたが、手間隙かけてゆっくり醸した味は自然で豊かな味わいでした。一方、発酵食品を美味しく作るには、技術と時間とコストがかかります。そこで、調味料を添加し、短時間で強制的に発酵熟成させた商品が大量生産され、利用されるようになりました。

さて、発酵食品中の微生物は、腸内環境を整え、免疫力を高めると言われています。中でも、生まれ育った土地で食べ続けられてきたものが良いようです。そこで、家庭で手軽にできておススメなのがぬか漬けです。野菜が、米ぬかのビタミンやミネラル、乳酸菌を吸収し、独特の香りとほどよい酸味を醸します。糟糠(※そうこう)なんてとんでもない! 究極の健康食です。

※ 米かすと米ぬかのことで、転じて、粗末な食物を意味する

会津大学短期大学部食物栄養学科 鈴木 秀子